

議事録

アパレル技能科 教育課程編成委員会ミーティング

日 時	2025年8月6日(水) 16:30~17:00 オンライン
場 所	東京服飾専門学校(B1) 豊島区巢鴨1-19-7
企業出席者	日本アパレル工業技術研究会 福永様 株式会社ステップス常務取締役 塚田 龍一様 株式会社アズノウアズ 執行役員 管理本部長 中村 潤様 有限会社ビーシーコスチューム代表取締役 太田えりこ様 株式会社クレヨン人事営業部マネージャー 森井久美子様 非常勤講師 権谷様・吉岡様・大森様・廣瀬様・山内様(5名) 常勤教員 石川・古賀・リビ・中島・花園・田中・石川誠・鷺(8名)
欠 席 者	3名
概要	1.教育課程編成委員会の学内位置付けと、教育内容向上への取り組み 2.教育・育成内容向上に関する取り組み(成果・課題) 以上について業界の求める人材を学科として育てているか、意見を収集して改善を図る
内容	①挨拶 ・教育課程編成委員会の学内位置付けと、教育内容向上への再確認 ・当校教育理念の共有と時代・価値変化に伴う意義説明 ②職業実践講座授業の実施途中結果 石川誠 ・教育課程編成委員会の趣旨を説明。 ・今回の教育編成委員会の目的と議事項目の紹介。 ・出席者紹介 ・アパレル技能科 ①1年基礎科 はじめに洋服を作る事において必要な基礎部分、自分の作りたい服をデザインし、製図、生地を裁断 縫製を行う、一連の流れを身につけさせる事と、総合的に洋服をとらえる事が出来るような授業内容に重きを おいている。 ・しっかりと将来自分の目指す仕事につけるように、学生のうちからやりたい事、出来る事の見極めが つけられ、目標に向かって努力できるように指導を行なってゆく ②2年アパレル技能科衣装制作コース ・デザインパターンを重視した作品作り、ヘッドドレス、帽子製作など ・薄物を使った前期ショーの作品作り、繊細な端処理、縫製方法 ・自分のデザインしたデザインをパターンに起こし、生地選び、縫製までの技術を習得 ・舞台衣装の世界で活躍出来る人材の育成 ③3年専攻科 ・作りたい服をデザインに起こしパターン、縫製と高度な服作りができるように指導してゆく。 ・デジタルツールを使った授業、Ipadを使用したコラージュなどの加工、Ipadを使用したデザイン画 ・インタラクティブボードを使用したプレゼンテーションの強化、ポートフォリオ製作(就活用) ④産学連携実習 *小森縫製 講演 小森縫製様の小森社長をお招きし、縫製、起業を始めたきっかけから成功までの苦労等現在に至るお話し 縫製技術者、デザイナー、パタンナーとしての心構えを学ぶ *ワイルドシルクミュージアム 東京深川で養蚕を営むワイルドシルクミュージアム様とのコラボ 9月の最終コンペティションを目指し現在作品を制作中 [外部見学として] 1年基礎科 *「LOVEファッション展ー私を着がえるとき」東京オペラシティアートギャラリー 2年衣裳博物館にて衣装展の見学「どうしてなんだか似て服」 2年劇団四季「アナと雪の女王」観劇 *BCコスチューム太田社長より学生のインターンを受け入れる時、事前に簡単なプロフィールをもらえると その学生を少しでも理解した上で仕事を依頼できるのでお願いしたいとのご意見をいただきました。 *林田もづる先生の講演会のお知らせ/雑誌『モーニング』で『アパレルドッグ』を連載中の林田もづる先生が当校に ご来校され、講演会が開催されました。tfacとのコラボ、コンペティションのお話もありました。
研修活動	・職員による勉強会の強化 職員によるミシンなど新しい機材、縫製ルートの確認などの工場見学、研修 辻洋装店、(株)ツヅキ工場、ソーアイグアサヒ(株) 報告、レポート提出
まとめ (総括)	・教育指針 本校として、学生に対してどのような指導を行い、学生を将来的にどう導いていくのか 教育の最終目的の部分が参加者の方々と共有出来た事が特に大きい事だと確信しております、 今後も今回提示させて頂いた目標に向かって学生への指導を進めて行きたいと思っております。